

焦げ付きにくく、術部の洗浄が可能な 双極電気凝固用ピンセット

企業 / 村中医療器（株）

研究者 / 太田富雄（大阪医科大学脳神経外科教授）



試作した双極電気凝固用ピンセット

外科手術、主として脳神経外科手術において、術者が双極電気凝固用ピンセットを簡単な操作で凝固を行いながらの洗浄を行うことにより、手術時間を大幅に短縮させることができる。

双極電気凝固用ピンセット腕先端部に灌流液を供給することによって生体組織あるいは血管の一部が双極電気凝固用ピンセット腕先端部に付着する焼き付き現象の防止効果を飛躍的に向上させ、凝固能の低下を防止できる。

一般に市販されている双極電気凝固用ピンセットを使用すると30分程度の連続使用で組織がピンセット腕先端部に付着してしまうのに対し、本提案の双極電気凝固用ピンセットを使用すると1時間以上連続使用が可能となる。その結果、手術中にピンセット腕先端に付着した炭化物をガーゼ等に擦りつけて剥ぎ落とす作業が減少するため、手術時間を大幅に短縮させることができる。